

ノンフィクション：蓮舟田邊太一のつぶやき（5）
～ 翁の著書「幕末外交談」から ～

田邊康雄

今回は、私が現に所持している書籍としての幕末外交談を紹介しましょう。即ち印刷製品としての幕末外交談です。以下の通りです。

—— 寸法・体裁

縦223mm、横158mm、29mm、本文536ページ、写真7ページ、厚紙表紙（緑色）、皮革背表紙（黒色）、金色文字で「幕末外交史 田邊太一著」と記載。

—— 表紙

無地。表紙をめくった一枚目に、「蓮舟田邊太一編述、幕末外交談全、東京合資会社富山房発兌（賣）」と記載されています。下にその写真を掲載しました。

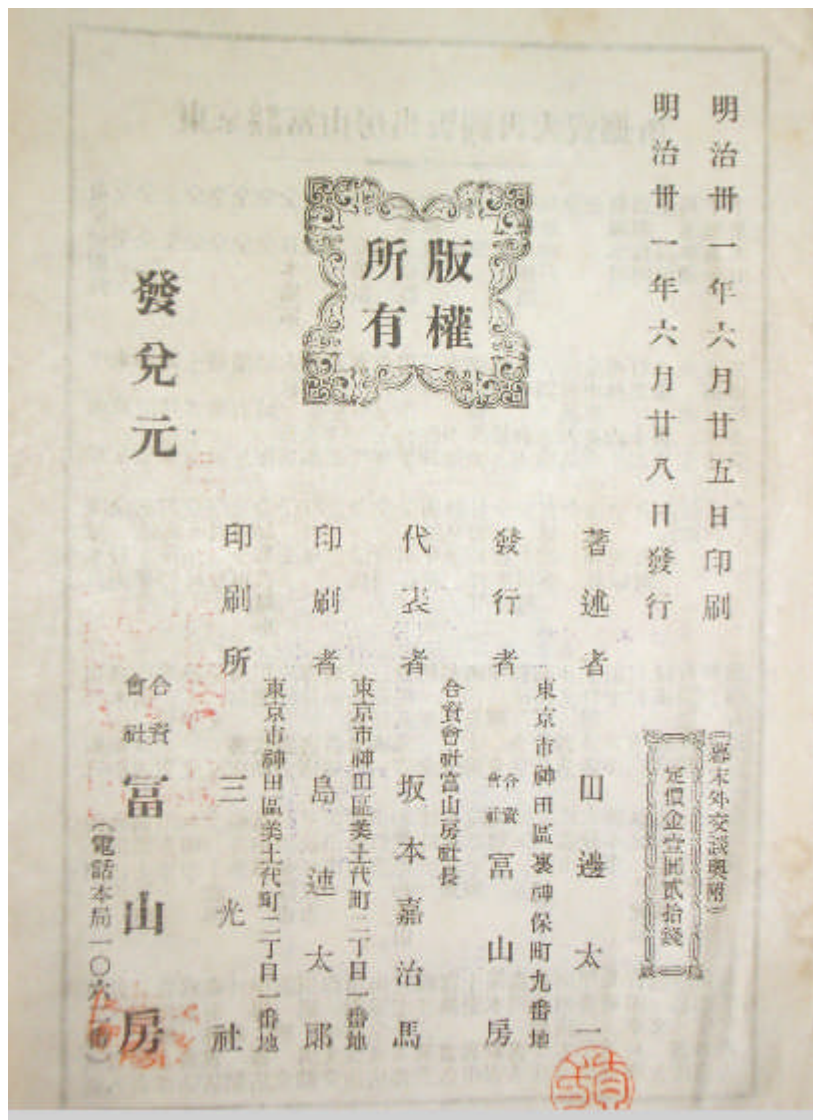
背表紙の「幕末外交史」と本のタイトルの「幕末外交談」が合致していませんが、その理由に関しては、私には情報がありません。



—— 奥付

最終ページは奥付です。ここに以下の記載があります。「明治卅一年六月廿五日印刷、明治卅一年六月廿八日発行、（幕末外交談奥付）定價金壹圓貳拾錢、著述者田邊太一、発行者東京市神田區裏神保町九番地合資会社富山房、代表者合資会社富山房合資会社富山房社長坂本嘉男、印刷者島連太郎、印刷所三光社、発兌元合資会社富山房（電話本局一〇六二番）」

下にその写真を添付します。発行日が明治31年6月28日であることを御確認ください。まぎれもない「幕末外交談初版本」です。



—— 写真ページ

- 1 枚目：「堀織部正詩」と「川路左衛門尉書」
- 2 枚目：「古賀謹一郎書」、「岩瀬肥後守画」並びに水野筑後守手簡」
- 3 枚目：タイトル「海軍の嚆矢」、「永井玄蕃守写真」、「矢田堀景蔵（洋装）写真」、「勝麟太郎（半洋装）写真」、「木村撰津守写真」
- 4 枚目：「遣米使節一行『桑港新紙所蔵』写真」、正使新見豊前守、副使村垣淡路守、觀察小栗豊後守備、組頭成瀬善四郎、会計長森田岡太郎
- 5 枚目：「両都（江戸・大阪）両港（兵庫・新潟）延期談判使節一行写真」、正使竹内下野守、觀察副使松平石見京極能登守、組頭柴田貞太郎、通辯桑山多吉郎
- 6 枚目：「徳川民部太輔（自書）」、「民部公子傳山高石見守備」、「駐佛公使向山隼人正」、「勘定奉行小栗上野介」、「駐佛公使栗本安藝守」
- 7 枚目：「（横浜）鎖港談判正使池田筑後守」、「同監察河田相模守」、「同副使河津伊豆守」、「洋人シーボルト」
- 8 枚目：「海外貿易主唱者服部左衛門佐」、「遣露使節小出大和守備」、「松前閣老誌（雲収風静・・・）」

「鎖港談判」正使池田筑後守の使節団、並びに「パリ万博」徳川民部太輔使節団に田邊太一は組頭として随行しています。それにも拘らず、太一は自分の写真を載せていません。組頭は載せないのかと思ったのですが、遣米使節一行に、組頭成瀬善四郎の写真を載せています。奥ゆかしいことではありませんか。

(26)	(25)	(24)	(23)	(22)	(21)	(20)	(19)	(18)	(17)	(16)	(15)	(14)	(13)
露西亞軍艦對馬に來る	ヒュースケン被殺	普魯士條約并に堀織部正の自殺	瑞西訂約拒絶	山王祭禮見物	外國掛り老中	祝砲	葡萄牙條約	神奈川奉行專任	遣米使	露西亞海軍士官の被殺	洋銀引替	神奈川開港	水戸老公の十四ヶ条
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
一五三	一五一	一三九	一三七	一三六	一三八	一二八	一二七	一二五	一二三	一一九	一一一	一〇九	九三

(40) (39) (38) (37) (36) (35) (34) (33) (32) (31) (30) (29) (28) (27)

攘夷黨の猖獗	一六〇
両都両港延期の使節	一六三
唐太分界	一七二
小笠原島巡視	一八九
皇妹降嫁附長井雅樂の上言	一九六
大原三位東下附生麥村斬英人	二〇一
亞米利加荷蘭へ軍艦製造委託并留學生派遣	二〇九
水野筑後守の致仕	二一四
將軍上洛并に攘夷の期定まる	二二〇
生麥事件落着附小笠原閣老の上京	二三九
京師形勢一変	二九九
將軍再度上洛	三〇九
横浜鎖港談判使節同其帰朝	三一五
松平大和守委任	三四七

